

絶対URL / 相対URL

```
http://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp/~miya/
```

基準となるURL

||

ベースURL

（実際には、URL後部に省略されている `index.html` が
置かれているフォルダをベースとして考える。）

👉 相対URL —— ベースURLを基準としたリソースのパスのみを記述
スキーム、ホスト名は省略

👉 絶対URL —— スキーム、ホスト名を含めた完全なURL

相対URL

ベースURL

`http://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp/~miya/`

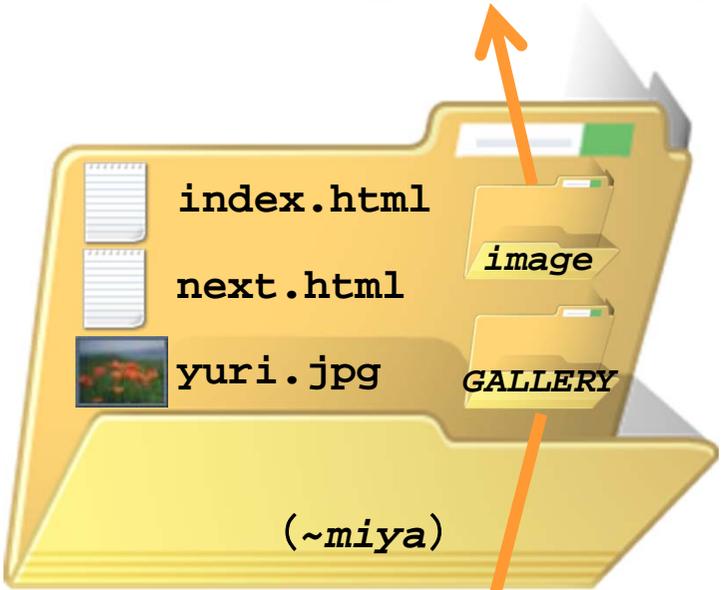


☞ ``

☞ ``

☞ ``

☞ ``



といった相対URLとなる

課題1

- (1) 自分のWebフォルダの下に image という名前のフォルダを作成し、画像ファイルをその中に移動させる。

これに合うよう HTML ファイルを修正し、アップロード

フォルダ名は自分で決めても結構です。

- (2) 自分のWebフォルダの下に test という名前のフォルダを作成し、2ページ目として作成したHTMLファイルをその中に移動させる。

これに合うよう 1ページ目のHTML ファイルを修正し、アップロード

ちょっと難解な相対URL

ベースURL `http://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp/~miya/GALLERY/`

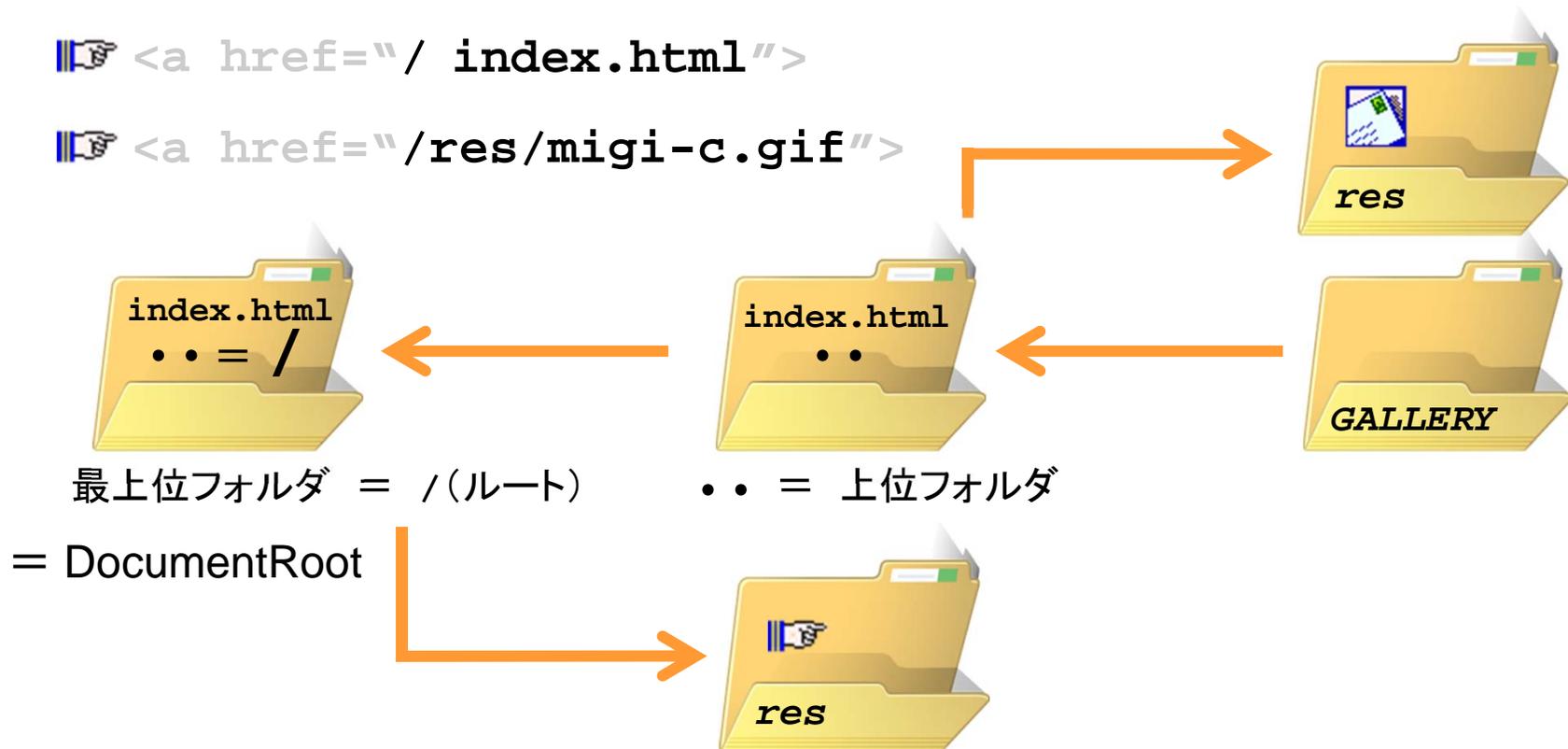
 ``

 ``

 ``

 ``

 ``



課題2

- (1) test フォルダの中にファイルを置いたページから、index.html へ戻るリンクを作成し、アップロード
- (2) index.html から、「宮原の授業で作成したページ」へのリンクをできるだけ短いURLで作成し、アップロード
(後日、削除して結構です)

ボディ部：インライン要素 3

強調

```
<em> ~ </em>  
<strong> ~ </strong>
```

- ✓ 強調の度合いは、em < strong
- ✓ 一般的には em がイタリック体、strong がボールド体となる

上付き・下付き

```
<sup> ~ </sup>  
<sub> ~ </sub>
```

- ✓ sup が上付き、sub が下付き文字となる

ボディ部：推奨されないインライン要素

☞ フォントの指定

```
<font color="#ff0000">色をRGBで指定</font>  
<font size="5">サイズを1~7の範囲で指定</font>  
<font size="+1">サイズを相対的に変更</font>
```

☞ テキストスタイルの指定

太字	✗	<u>下線</u>
<i>イタリック</i>		<s>取消線</s>
<tt>等幅</tt>		<strike>取消線</strike>

☞ ページの構造を記述するものではない！

☞ スタイルシートで記述

文書構造とスタイルの分離

Webページの現状

- ✓ 文書構造と見栄えの指定がHTML要素・属性として混在

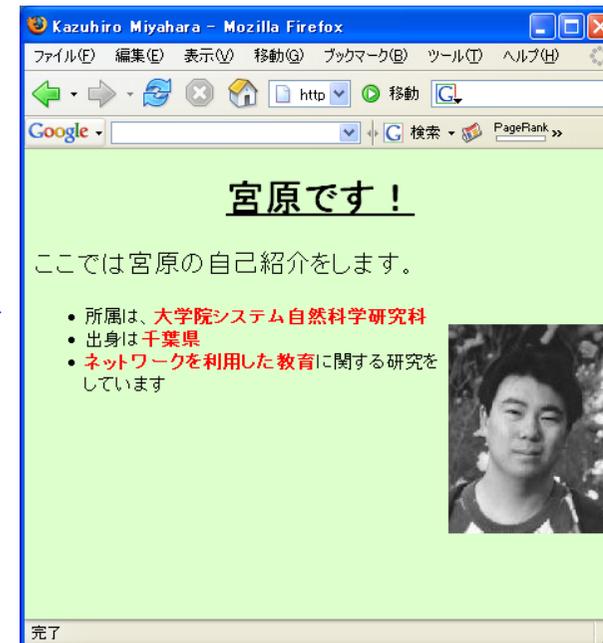
→ スタイルシートを用いて分離



スタイルシートの機能

- ✓ ページ・段落の余白
- ✓ 文字列の配置(右揃え・中央揃え等)
- ✓ 文字飾り(下線・取消線等)
- ✓ 文字の大きさ・色・フォント
- ✓ 字体(太字・斜体)
- ✓ 段落にインデントを設定
- ✓ 行間隔
- ✓ 背景色・背景画像
- ✓ 文字列の回りこみ
- ✓ 表の行高・列幅
- ✓ 図形の高さ・幅

適用



CSS ~ Cascading Style Sheet ~

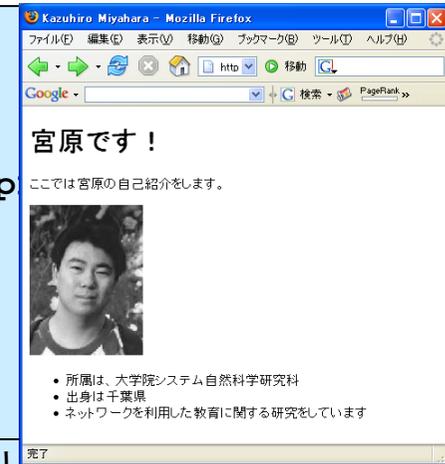
👉 Webページのスタイルを設定するための言語

✓ HTMLの要素等に対してスタイル規則を記述する

```
<body>
  <h1>宮原です！</h1>
  <p>ここでは宮原の自己紹介をします。</p>
  <p id="image"></p>
  <ul>
    <li>所属は、<em>大学院システム自然科学研究科</em></li>
    <li>出身は<em>千葉県</em></li>
    <li><em>ネットワークを利用した教育</em>に関する研究をして
  </ul>
</body>
```

HTMLも若干変更あり

```
<style>
  body { background-color:#ddffcc }
  h1 { text-align:center;text-decoration:underline }
  em { color:red;font-weight:bold;font-style:normal }
  #image { float:right }
</style>
```



CSSの記述場所 1

要素内スタイルシート

- ✓ style 属性を使い、各HTML要素の開始タグに記述
 - ✗ 要素の数だけ記述が必要
 - ✗ 構造とスタイルの分離という趣旨に反する

[ボディ部]

```
<h1 style="color:blue">宮原です！</h1>
. . . . .

<h1 style="color:blue">講義のサポートページ</h1>
. . . . .
  <h2 style="color:green">情報処理応用</h2>
  . . . . .
  <h2 style="color:green">情報処理論</h2>
  . . . . .

<h1 style="color:blue">他のページへのリンク集</h1>
. . . . .
```

使用を推奨しません

CSSの記述場所 2

📖 ページ内スタイルシート

- ✓ style 要素を使い、ヘッダ部に記述
 - 構造とスタイルの分離
 - △ 全ての HTML ファイルに記述が必要

[ヘッダ部]

```
<style>
  body { background-color:#ddffcc }
  h1 { text-align:center;text-decoration:underline }
</style>
```

[ボディ部 (変更なし)]

```
<body>
<h1>宮原です! </h1>
. . . . .

<h1>講義のサポートページ</h1>
. . . . .

</body>
```

CSSの記述場所 3

📖 ページ間スタイルシート

- ✓ スタイルを記述したファイルを別に用意
 - 構造とスタイルの分離
 - △ 複数の HTML ファイルのスタイルを変更

[style.css : 別ファイル]

```
body { background-color:#ddffcc }  
h1 { text-align:center;text-decoration:underline }
```

[ヘッダ部]

```
<link href="style.css" rel="stylesheet">
```

[ボディ部 (変更なし)]

```
<body>  
<h1>宮原です! </h1>  
.....  
  
<h1>講義のサポートページ</h1>  
.....  
  
</body>
```

スタイル規則

👉 下記の形式でスタイル規則を記述

```
セクタ { プロパティ : 値 }
```

- ✓ セクタ : スタイル適用の対象となる HTML 要素
- ✓ プロパティ : スタイルの種類 (color, font-size 等)
- ✓ 値 : プロパティの値

```
body {background-color:aqua}
h1 {font-size:18pt;color:blue}
h2 {font-size:14pt;color:green}
h3,h4 {font-size:12pt;color:black}
p {line-height:24pt}
span {text-decoration:underline}
```

- ✓ 複数のプロパティを記述する場合には「;」で続ける
- ✓ 複数のセクタに同じ記述をする場合には、「,」で続ける

プロパティの具体例(抜粋)

色

`color`

`background-color`

フォント、テキスト装飾

`font-size`

`font-family`

`font-style`

`font-weight`

`text-decoration`

レイアウトに関するサイズ

`margin-top`

`margin-right`

`margin-bottom`

`margin-left`

`margin`

`line-height`

配置

`text-align`

`vertical-align`

その他

`background-image`